

テーマ：子育て・教育

■あるべき姿

ハード面 ・子どもが夢をかなえる町 ・中山間地(自然の中)で考える力を育む町 ・子連れで出かけても寝かせられるスペース ・親子で行ける場
・声が響き渡る楽しさ ・外の人々が帰ってこない→帰ってきたくなる町 ・同居の祖父母から沢山学べる ・コミュニケーション講座の充実
コミュニティ ・コミュニティのつながり ・家族同士の交流 ・同じ想いを持ったママとのつながり ・父親を楽しく ・多様性がある ・高齢者との関わり
・子どもと一緒に育み合える居場所 ・色々な学区の子どもとふれあえる
サービス・情報 ・選択肢がある ・「ここにいれば、ここをみれば得られる情報」 ・子育て情報共有 ・つらいときにすぐに頼れる
精神的 ・子どもの地域愛 ・魅力的な長岡の子育て ・つらいときにすぐに頼れる ・お金の使い方(地元野菜を買うことの意味)を学べる

■現状・課題

ハード面 ・学童保育の充実 ・歴史的施設が少ない ・教育者が必要+施設 ・児童館に子どもが入りきらない ・不登校の児童の相談所
コンテンツ(学校) ・部活が選べない ・先生に力を与えなさ過ぎてコントロールできない ・障害のある人へのアプローチが少ない ・長岡の歴史を学ぶ
コンテンツ(大人に対して) ・コミュニケーション講座が少ない ・中山間地を活かした子育て環境の取組が行えない ・大人も適切な値段を知らない

■やれること

・道の駅をつくる ・知識から知恵 ・教育だけでなく実際にする教育

- ★働くお母さんのための学童保育の延長化(有料化)
- ★市が見やすい、ゆるい、市民の声が具体的に市政だよりを充実
- ★地元学(歴史・食)を長岡の子どもに
- ★お母さんが起業しやすい街

■発表内容概要

長岡市は子育て支援サービスが非常に充実している。しかし、就学前の保育は6時以降も預かってくれるが、学童保育では6時までしか預かってもらえないので、延長化を考えてほしい。学童保育は無料で行っていただいているが、延長の部分については有料化でもよいと思う。

情報についてだが、市政だよりや市のホームページもあり、NPOなど子育ての活動を行っている団体もあり、情報がありすぎたり、ほしい情報が出てこない場合がある。例えば、市政だよりなどをもう少しフラットなかたちにしたり、営利目的のあるものも載せられるようにしたり、NPOなどの頑張っている活動も伝えていければよいと思う。

歴史についてだが、長岡市には非常に豊かな歴史があり、様々なすばらしい方がいるので、子どもたちに学んでほしい。大学で一度出たとしても、戻ってきてもらえるような魅力を子どもたちに伝えていければよい。

お母さんが起業しやすいまちとしたが、就職をしたくても企業がなくて戻ってこれないなかで、お母さんたちが起業しやすいまちを目指すことは非常に重要である。

